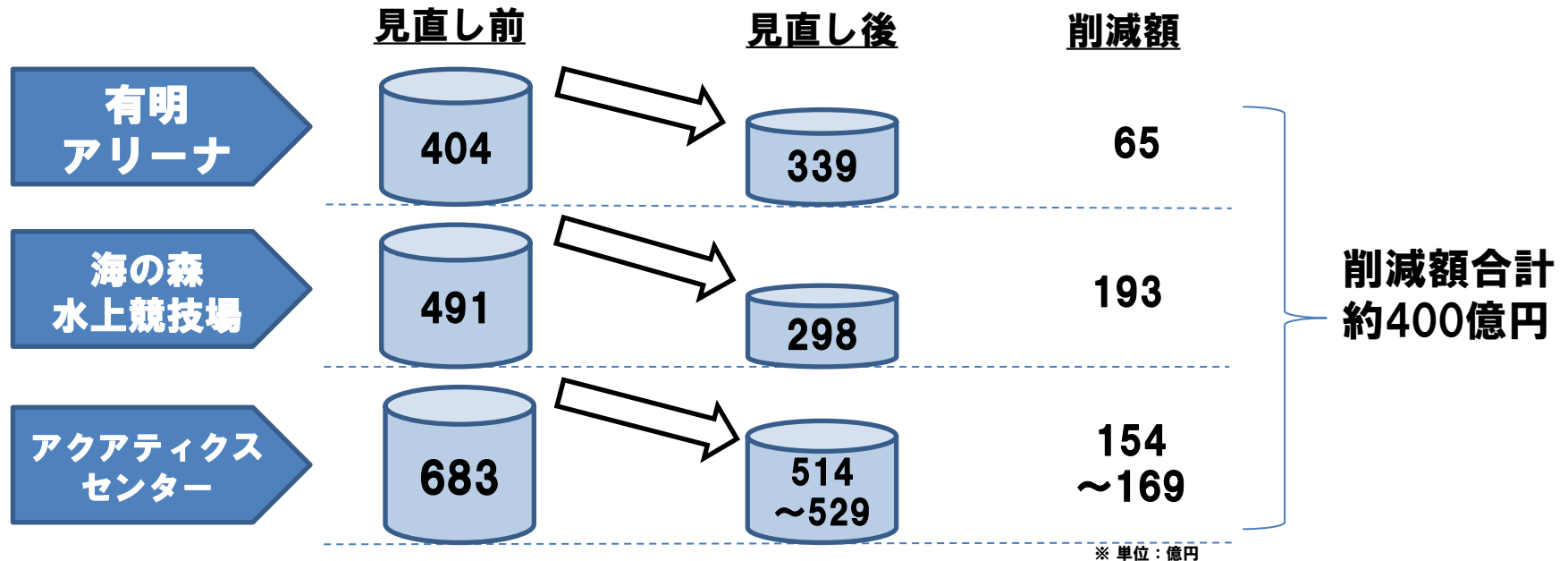


# 東京2020大会 会場見直しについて

# 1. 会場見直しと将来への投資

- 3施設の整備費について、ワイズスペンディングの観点から約400億円を削減
- 今後、環境性能の確保など将来への投資も実施



## 2. 3つの視点

- 点（施設）から面（地域）へ
- コストから将来への投資へ
- 官から民へ

### 3. 有明アリーナ地域全体の将来イメージ

“ ARIAKE LEGACY AREA ” ～SPORTS & EVENTS～

## ARIAKE LEGACY AREA



スポーツ  
クライミング

5人制  
サッカー



有明体操競技場  
後利用の展示場



有明アリーナ

有明テニスの森駅



有明テニスの森公園

大型商業施設・ホテル  
ホール・住宅・業務

(2020年一部竣工)

ゆりかもめ

りんかい線

国際展示場駅

有明駅

航空写真©東京都

## 4. 民間の力を活用した有明アリーナの運営

東京の新たなスポーツ・文化の拠点

- ARIAKE LEGACY AREAのランドマークとなる施設
- 地域の賑わいと発展に貢献

### ○ 民間事業者の創意工夫を最大限生かした施設運営

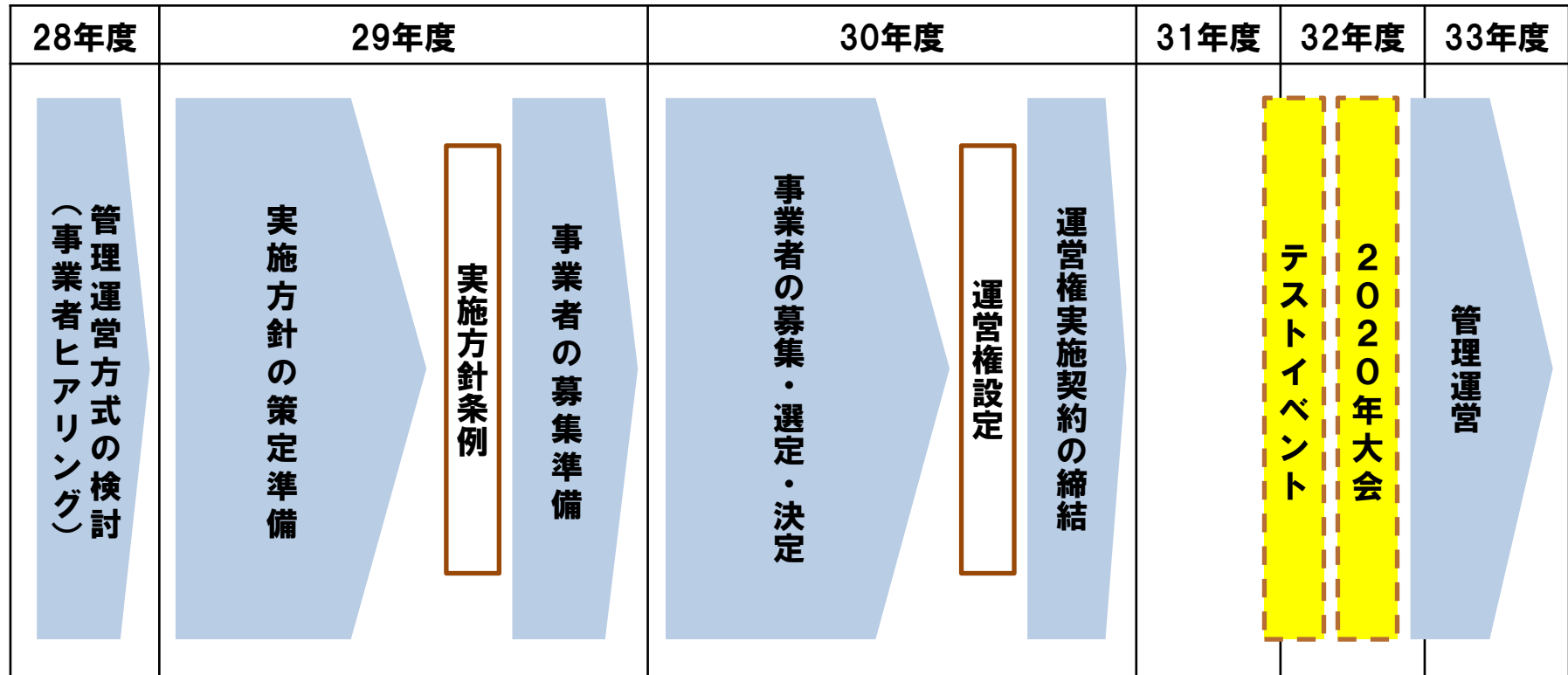
⇒ コンセプション方式の導入に向けた検討

(検討の視点)

- ・ 民間事業者の創意工夫を生かせるスキームの構築
- ・ 民間事業者による追加投資（大会後のニーズに柔軟に対応）
- ・ 都民負担の縮減（ワイズスペンディング）
- ・ 地域の活性化への貢献（ARIAKE LEGACY AREA）

スポーツ、エンターテインメントのレガシーを効果的に実現

## 【コンセッション方式導入スケジュール】



## 【事業者ヒアリングの実施】

施設運営の意欲と能力を持つ民間事業者からヒアリングを実施（平成29年1月～）

### ○民間事業者の意見、意向を把握

- 施設の活用方策
- 収益増加の方策
- 追加投資の意向
- 地域活性化の取組 など



- ・施設の有効活用
- ・都民負担の縮減
- ・レガシーの実現

### コンセプション実施方針に反映

民間事業者の創意工夫を最大限生かせるスキームを構築